

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

ピカピカの一年生に元気もらい
今日から仕事古稀の我れ

●富谷市 菅井初江

戸田つ児の黄色帽子が声高に

サヨナラ叫び駆け抜けて行く

●戸田市 久米壽彦

子も巣立ち伴侶も送り七十路ななそじすぎ

笑顔のささえシルバー仲間

●松戸市 秋元輝美

シルバーで老いてなるかと汗流し

波風あれど旨い酒呑む

●印西市 山田 明

病床に毎日LINEくれし友

寄り添う言葉心に響く

●碧南市 大村幹枝

俳 句

お品書き丸文字太く独活うどなます膾

●小山市 原田利江

あたらしき散歩コースや夏に入る

●本庄市 長谷川千鶴子

筍や友と分かちてレシピ増え

●草加市 長谷部禎子

小流と言へども早き涼しさよ

●戸田市 篠崎志津子

自転車の補助輪はずし風光る

●東京都大田区 小池弘一

シルバーの友との集ひ新茶汲む

●東京都練馬区 山口昭義

代掻けば供する鳥の多かりき

●武蔵村山市 原野晴光

背な重く新入生のラン

大銀杏芽吹き境内香し

菜の花や黄色まぶしく

夕映えのかりんの小径

我が庭に牡丹一株華や

春陽射す水面は星の屑

老犬の白内障や春霞む

母の日の孫の手紙や上